

令和 5 年度臨時総会 議案書

日時:令和5年9月25日(月)

せたがや生涯現役ネットワーク

次 第

(1) 議案審議

第1号議案 令和6年度補助事業計画と補助金予算要望について……p.2

第2号議案 会則の変更について……p.12

第3号議案 世話人の欠員補充について……p.12

(2) 報告

第1号報告 令和5年度イベント「生涯現役フェア」中間報告……p.13

第2号報告 令和5年度シニアの社会参加あとしプロジェクト中間報告・p.14

第3号報告 令和5年度シニア Zoom サロン 中間報告……p.15

第4号報告 令和5年度ネットワーク再活性化事業中間報告……p.16

第5号報告 令和5年度プロジェクト(一般会計)中間報告……p.17

第6号報告 会員の入会について……p.17

第1号議案 令和6年度補助事業計画と補助金予算要望について

令和6年度は下表の4つの補助事業を行う。

No.	事業名称	備考
1	イベント「生涯現役フェア」	継続事業
2	シニアの社会参加あとおしプロジェクト	R5 年度から始まった事業を継続(2 年目)
3	シニア Zoom サロン	R4 年度から始まった事業を継続(3 年目)
4	ネットワーク再活性化事業	R5 年度から始まった事業を継続(2 年目)

実施体制について、令和 5 年 4 月時点と現状(5月総会にて変更、来年度もこの体制)を比較して下図に示す。

各事業の詳細は次ページ以降に記載

【令和 5 年 4 月時点】

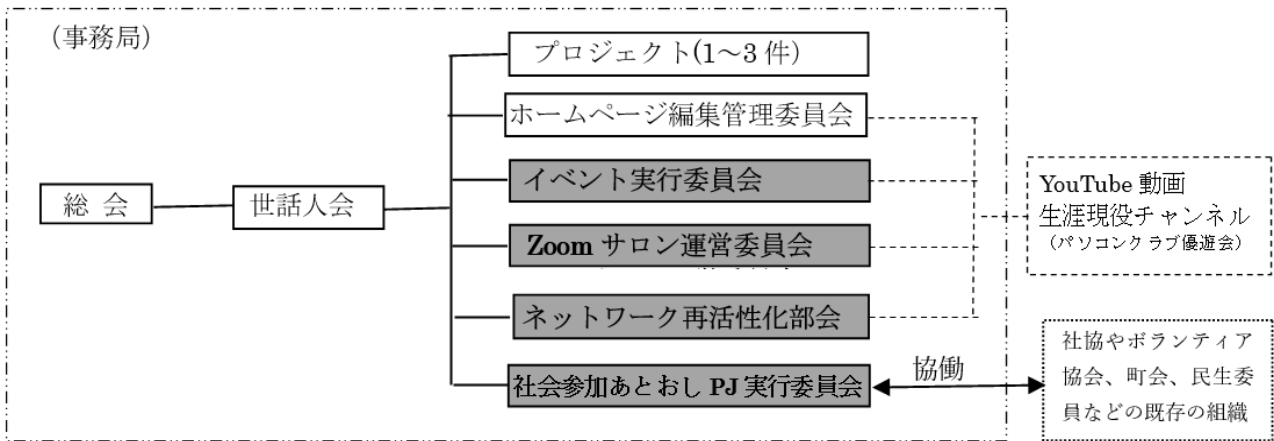


図 1 せたがや生涯現役ネットワーク組織図 (着色部は補助事業)

【令和 5 年 5 月総会以降、来年度も同じ】

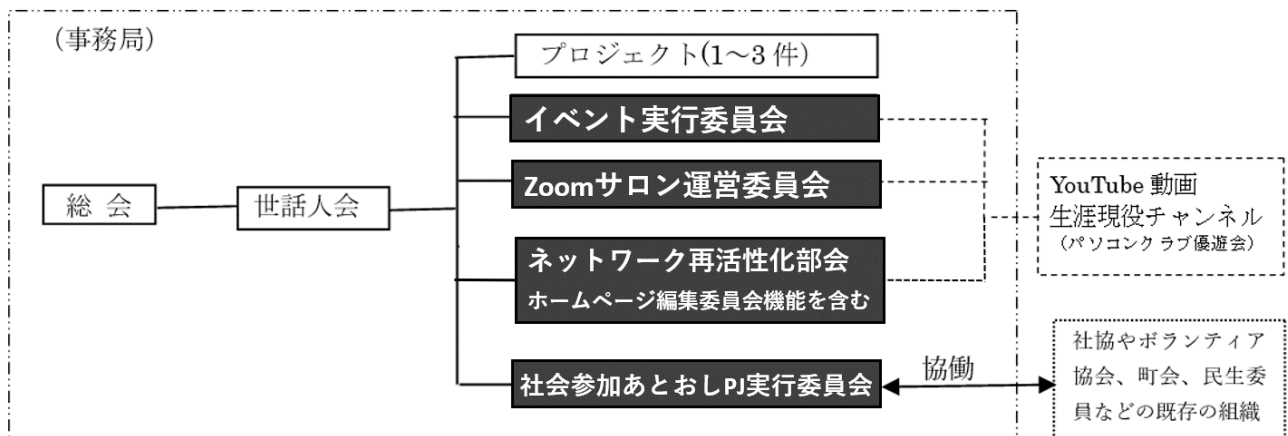


図 1 A. せたがや生涯現役ネットワーク組織図 (着色部は補助事業)

・特別会計(1)イベント「生涯現役フェア」

補助事業の名称	第 18 回生涯現役フェア
補助事業のねらい	多数のシニアが来場するように本イベントを開催して、加盟団体紹介や活動成果発表を通じて、地域活動団体への入会者並びにネットワークへの加盟団体を増やすことがねらいである。同時に、活動成果発表へ向けた準備などを通じて各団体の活動活発化や団体間交流もねらっている。
補助事業の実施内容	毎年フェアのサブテーマを定め、生涯現役を実践している著名人によるサブテーマに沿った講演会等を開催するとともに、本ネットワーク加盟団体による舞台発表や展示(団体紹介・エキシビション・体験コーナー・物販・景品)を行う。フェアの実施状況を撮影し YouTube 動画として仕上げ、後日 PR 媒体として活用する。
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施期間	令和 6 年 4 月～令和 6 年 11 月/フェア:令和 6 年 10 月 6 日(日)
補助事業の実施場所	玉川区民会館(予備日令和 7 年 2 月 16 日(日)の場合は成城ホール)
予定参加人数等	有料観客 150～300 名、出展団体・スタッフ含め合計 500 名
補助事業の実施方法	4 月 実行委員募集、講演者検討 5 月 イベント出展団体及び当日スタッフの募集 6 月 ポスター・チラシデザイン、当日スケジュールの検討 8 月 来場者募集開始 9 月 最終確認、イベント出展団体及び当日スタッフへの説明 10 月 イベント実施 11 月 実施報告書の提出/事後チラシ配布
実施体制	ネットワーク内に公募した実行委員と Seta IT チームを主体とした IT 班 10 名(動画収録)と各団体からの当日スタッフによる。
補助事業の期待できる成果	生涯現役社会づくりを目指す「せたがや生涯現役ネットワーク」の存在と役割を広く区民に周知すると同時に、各加盟団体の PR を図り、社会的活動、特にボランティア活動で社会を支えてくれる多くの人材を獲得できる。 フェアに集まった観客へ「シニアの社会参加あとおしプロジェクト」の各種行事の PR を積極的に行い、その参加者の増加と加盟団体への入会者が増えることが期待できる。

【年間スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実行委員募集	実行委員会 講演者検討 講演者決定 企画内容確定 プログラム・チラシデザイン検討 チラシ印刷					イベント実施	実施報告書提出
	出展団体募集			出展団体の出展準備			

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	307,000	支出合計額－講演会参加費
講演会参加費	100,000	500円×200人
合計	407,000	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1)事業経費		
出演料	230,000	税込み・交通費含む
イベント保険料	5,000	200名×25円
チラシデザイン費	10,000	事前チラシ1種類 観客増加で収入増額時は事後チラシを制作
チラシ・ポスター印刷費	20,000	チラシ1万部、ポスター300枚
実行委員・当日交通費及び設営費	35,000	当日交通費 500円×35人 設営費 500円×35人
IT班事前準備会議・準備作業	10,000	2,000円×5人
YouTube動画編集費用	25,000	収入額により製作本数・費用を増減
会場装飾費用	30,000	会場飾りつけデザイン料、ブース団体名等印刷代、演台用生花。 ただし、観客数見込みで出費を調整
参加者受付業務	10,000	受付確認メール送信および電話受付、リマインダーメール送信
実行委員会交通費	20,000	500円×4回×10人
小計(ア)	395,000	
2)共通経費		
消耗品費	3,000	名札、腕章、手提げ袋など(出来るだけ前年度のものを流用)
通信費	2,000	
管理費	7,000	会計業務(事業経費の2%、千円未満切り捨て)
小計(イ)	12,000	
合計	407,000	

・特別会計(2)シニアの社会参加あとおしプロジェクト

補助事業の名称	シニアの社会参加あとおしプロジェクト
補助事業のねらい	シニアが地域の仲間づくりの「きっかけ」やその活動の「あとおし」を効果的に行い、団体参加にこだわらず広い意味での様々な社会参加の形態で、より多くのシニア世代の社会参加が実現することを目指す。
補助事業の実施内容	① 健康保持、芸術・趣味、地域ビジネス、ボランティアなど様々なテーマの勉強会・講習会の開催。(全区内対象の仲間作りイベント)。 ② まち歩きを含めた地域イベント開催。 ③ 地域活動体験講座開催。(修了後に体験した地域活動団体に入会する率が高い)
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施場所	区内各所、ひだまり友遊会館(体験講座)
予定参加人数	延べ 200 名前後
補助事業の実施期間	令和 7 年 3 月までの単年度事業(3 か年計画に基づく継続事業 2 年目)
補助事業の実施方法	実行委員会 4 月～3 月、イベント実施 5 月～7 月、11 月～3 月 年間スケジュールは別表のとおり。
補助事業の実施体制	令和 5 年度の体制を継続し、生涯現役ネットワーク内に公募して新たなメンバーも加えて実施する。
補助事業の期待できる効果	生涯現役ネットワークの各団体へ入会して地域活動を始める人達が増えて、シニアの孤立・孤独の解消に繋がる。 既存の団体へ入会せずに新たな地域団体を作ろうとする人材の発掘にもつながり、市民活動の活性化に役立つ。 生涯現役ネットワークの各団体が、イベント開催や「地域活動体験」での講師やスタッフを担当し、体験入会者受け入れなどを通じて、活動の意味を再確認し、活動自体を広める機会にできるなど活性化する。

【年間予定表】前年度のイベントに関連させたシリーズのイベントを上期に行い、下期は生涯現役フェア 10 月での PR 力を活用した集客でイベントを行い、補助事業全体の効率を高める。

【令和 6 年度】	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
実行委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
広報									●			
イベント		●		●				●●	●●	●	●	●
アンケート									●		●	
次年度計画・実績報告					●							●

備考) 令和 6 年度は前年度と期中で企画立案したイベントを実施し、新アイデアを含む次年度の計画も立案する。令和 7 年度は前年度に計画したイベントを着実に実施し 3 か年事業の総括報告書(後継 PJ 計画を含む)をまとめる。

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	382,000	支出合計額－音楽会参加費
音楽会参加費	40,000	500円×40人×2回
合計	422,000	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1)事業経費		
会議費(交通費)	84,000	500円×14人×12回
会議室借用料	6,000	500円×12回
チラシデザイン費	45,000	街歩き・勉強会の各イベント版7、全体版1、 「体験講座」全体版1 合計9種類 5,000円 ×9種類
チラシ印刷費	45,000	5,000円(2,000部)×9
勉強会・音楽会・交流会講師謝礼	50,000	10,000円×5回
伴奏者謝礼	40,000	音楽会参加費 20,000円×2回
街歩き講師謝礼	10,000	5,000円×2人
イベントスタッフ謝礼(外部スタッフ)	20,000	2,000円×10人
イベントスタッフ謝礼(実行委員)	60,000	2,000円×30人
街歩き実施調査費	30,000	スタッフ謝礼:2,000円×5人×2回 交通費:5,000円×2回
アンケートデータ整理作業	10,000	100名分 10時間
小計(ア)	400,000	
2)共通経費		
文具事務用品・消耗品費	4,000	
通信費	10,000	
管理費	8,000	会計業務(事業経費の2%,千円未満切り捨て)
小計(イ)	22,000	
合計	422,000	

・特別会計(3)シニアZoomサロン

補助事業の名称	シニア Zoom サロン
補助事業のねらい	地域デビューをしたい方に対して Zoom で相談に乗り、相談者のニーズに沿ったネットワーク加盟団体を紹介・地域活動に役立つ行政機関の紹介や情報提供を行い、シニアの地域活動参加を促す。 Zoom サロンを「人が交流する地域活動」になるように常連参加者を増やし有益な活動にする。(Zoom サロンに出るだけでも地域デビュー)
補助事業の実施内容	・Zoom サロン 12 回:10:00~11:00 毎回ネットワーク加盟の一団体が活動紹介 20~30 分、参加者が自己紹介と質疑、MC が会話の場を盛り上げる。毎月の団体紹介を YouTube 動画に編集して活用する。 ・サロン準備・反省:Zoom サロン前後に運営委員が準備と反省会。 ・運営委員会 4 回:対面サロン企画、チラシ検討、アンケート分析。 ・対面サロン 1 回:区内施設会議室で 12 月~2 月頃開催(ゲストスピーチ)。
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施場所	リモート(Zoom)、区内施設
予定参加人数	延べ 180 名前後
補助事業の実施期間	令和 7 年 3 月までの単年度事業(3 年目となるので、次年度事業の内容を大幅に改革することも含め、継続できるように成果を上げる。)
補助事業の実施方法	チラシ、区報、HP、口コミ(IT 講座受講生を勧誘)、メール他にて集客を図り、サロン参加者数を確保し、リピート率も高くなるように内容を充実させて、Zoom によるリモート会議機能でサロンを開催する。下の年間予定表参照。
補助事業の実施体制	ネットワーク内に公募を行って組織した Zoom サロン運営委員会(表 1=現状)について、基本的に変更なきものとするが、適宜メンバーの増減・交代も考慮する。
補助事業の期待できる効果	Zoom で気軽に相談でき、退職後の地域回帰を図る方の助けとなる。地域活動の経験豊富なスタッフが運営委員になっているので、相談者の悩みに向き合え、場合により個別の相談にのる事もできる。 相談者は、在宅のまま相談でき、外出自粛中も安心して利用できる。

【年間予定表】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サロン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
委員会他	運営委員会 ●		運営委員会 ●		運営委員会 ●			対面サロン ●		運営委員会 ●		
チラシ	●						●					
アンケート (都度メール)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
計画・報告						次年度計画補助金申請 ●						決算報告 ●

※運営委員会は対面で4回開催予定とするが、必要に応じて適宜 Zoom でも開催する。

表1. Zoom サロン運営委員会メンバーと役割

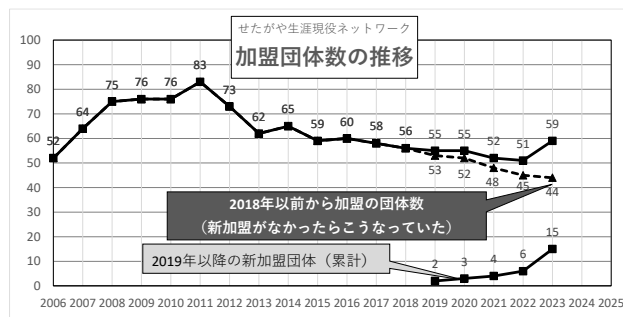
氏名	所属団体	役割(案)
真貝 高三	せたがやすまほ研究会	委員長、MC
臼井 達郎	世田谷地域デビューの会	渉外
岡崎 宏	せたがや生涯現役ドットネット	広報、参加受付・メール配信
佐伯 京子	世田谷ウオーキングフォーラム	MC
大西 真由美	世田谷地域デビューの会	MC
小畑 崇	世田谷ウオーキングフォーラム	記録担当
中島 有二	パソコンクラブ優遊会	Zoom 技術指導、動画作成
河上 勇	世田谷砂場クラブ	企画、広報、参加受付・メール配信
熊井 誠	世田谷区健康体操連盟	総務(会議等の設営)
今村 眞展	世田谷地域デビューの会	会計

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	310,600	
合計	310,600	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1) 事業経費		
サロン相談員/MC 謝礼	108,000	(1,000 円 × 7 人 + 2,000) × 12 回
会議費	25,000	500 円 × 10 人 × 5 回
参加受付・リマインダー・アンケート・データ管理業務	39,000	1,000 円 × 13 回 × 3 人
講師謝礼	57,400	3,000 円 × 10 団体 + 特別講師(大学教授級 13,700 円/1時間*2回)
会議室利用料	3,000	500 円 × 4 回 1,000 円 × 1 回
団体紹介部分の動画制作費	36,000	Seta-IT-Team へ制作委託
対面サロンスピーチ謝礼	3,000	3,000 円 × 1 人
チラシデザイン、印刷費	24,000	
小計(ア)	295,400	
2) 共通経費		
文具事務用品・コピー代他	5,000	
郵便代	5,200	ガイドブック郵送(140 円 × 30 回 + 250 円 × 4 回)
管理費	5,000	会計業務(事業経費の2%、千円未満切り捨て)
小計(イ)	15,200	
合計	310,600	

・特別会計(4)ネットワーク再活性化事業

背景

せたがや生涯現役ネットワークは、2014 年以降加盟団体数が減少し続け、さらにコロナ禍による高齢化加速で団体解散が懸念される団体もあり、これ改善するために、ネットワーク並びに各団体活動の再活性化を計画的に行うことが急務となっている。



補助事業の名称	ネットワーク再活性化事業
補助事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和 5 年度にネットワーク加盟の各団体をヒアリングし現状とニーズを把握したので、これを受けて活性化対策として「加盟団体の成功事例発表と交流会」と各団体の IT 技能の向上に取り組み、解散や脱退を予防する。 ② 「生涯現役」の原点に立ち返って、区内諸団体・企業等を含む対象に対して、ネットワークへの加盟を勧誘して新規加盟団体を増やして、ネットワーク全体を活性化する。 ③ HP 編集委員会を包含した体制となり、ネットワーク全体の IT 能力向上を効率的に行う。
補助事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ① ネットワーク加盟各団体の交流会(100 人規模)と活性化 ② 戦略的な新規加盟団体勧誘 ③ ネットワーク HP の活用度 UP と各団体 HP 維持改善の援助
補助事業の対象	区内在住の中高年、区内の地域活動団体、企業、NPO など
補助事業の実施場所	区内施設(ひだまり、シャレナードなど 100 人収容可能な会場)
新加盟団体数の目標	新規加盟団体数 3 団体以上
補助事業の実施期間	令和 7 年 3 月までの単年度事業(3 か年計画に基づく継続事業 2 年目)
補助事業の実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 「加盟団体の成功事例発表と交流会」を 1 回開催する。 ② 各団体の IT 技能の向上のために、IT 能力の高いスタッフを確保して教育指導に取り組み、HP 活用活発化、各団体の個別紹介動画制作、各団体ホームページ改善支援など)にて活性化に寄与する。 ③ 加盟が望ましいと考えられる地域活動団体や企業等をリストアップし、メールや手紙で勧誘し、必要に応じて訪問・面談もおこなう。
補助事業の実施体制	令和 5 年度「ネットワーク再活性化部会」(下記のメンバー)に、ネットワーク内で公募して得られた新メンバーを加えた組織とする。 リーダー:小川正徳(紙芝居) サブリーダー:河上勇(砂場クラブ) IT 担当:中島有二(優遊会) 企画:林祥介(シニアスクール) 会計:今村眞展(地域デビュー) HP 担当:岡崎宏(ドットネット)、真貝高三(すまほ研)、石川令子(環境学習会)、片岡龍次(トーク会)
補助事業の期待できる効果	各団体の状況を聞いて対応する事で、コロナ禍での活動停止や入会者激減による活動衰退・解散を回避することに寄与できる。 区内の企業訪問時、社員退職時手渡し書類にネットワークガイドブックを含めてもらうよう依頼。退職者等が地域活動を始めやすくなる。 新規加盟団体を多く迎えることで、ネットワークが活性化する。

【年間予定表】

【令和6年度】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部員募集 再活性化部会	●	●	●	●	●		●		●		●	●
ガイドブック		●										
交流会(1回)									開催時期とくにこだわらず			
既存団体調査 活性化個別対 応(HP・動画)						●						●
団体・企業新 規加盟の勧誘			リス ト 化	発送	訪問	発送	訪問	発送	訪問	発送	訪問	●
次年度計画・ 実績報告					●							●

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	490,000	
交流会参加費	40,000	500円×80人
合計	530,000	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1) 事業経費		
ガイドブック印刷費(編集費 20,000円・ 表紙デザイン外注費 30,000円含む)	270,000	新加盟団体加え改訂 28頁×3000部×2回
HP更新作業費	46,000	@3,000×12ヶ月(主作業)+10,000(補助者)
調査・計画策定作業費	10,000	勧誘団体・企業、団体要望とりまとめ
再活性化部会交通費	44,000	500円×8人×8回 1,500円(区外在住者)×8回
会議室利用料	4,000	作業会 500円×8回
交流会講師・グループコーディネータ	36,000	講師@3,000×6人、G.C.@3,000×6人
動画/Google フォーム講習&制作費	70,000	Seta-IT-Team へ委託
団体・企業訪問	25,000	2,500円×2人×5回
小計(ア)	505,000	
2) 共通経費		
文具事務用品・コピー代他	5,000	
郵便代	10,000	
管理費	10,000	会計業務(事業経費の2%、千円未満切り捨て)
小計(イ)	25,000	
合計	530,000	

収支まとめ

収入		R5 予算額	R6 予算額	差額
特別 予算	(1) イベント(生涯現役フェア)			
	区補助金	430,000	307,000	▲123,000
	講演会入場料	75,000	100,000	25,000
	小計	505,000	407,000	▲98,000
	(2) シニアの社会参加あとしプロジェクト			
	区補助金	403,500	382,000	▲21,500
	音楽会参加費	0	40,000	40,000
	小計	403,500	422,000	18,500
	(3) シニア Zoom サロン			
	区補助金	310,600	310,600	0
	小計	310,600	310,600	0
	(4) ネットワーク再活性化事業			
	区補助金	328,000	490,000	162,000
	交流会参加費	0	40,000	40,000
	小計	328,000	530,000	202,000
	区補助金計	1,472,100	1,489,600	17,500
計	1,547,100	1,669,600	122,500	

支出		R5 予算額	R6 予算額	差額
特別 予算	(1) イベント(生涯現役フェア)			
	1) 事業経費	480,000	395,000	▲85,000
	2) 共通経費	25,000	12,000	▲13,000
	小計	505,000	407,000	▲98,000
	(2) シニアの社会参加あとしプロジェクト			
	1) 事業経費	381,500	400,000	18,500
	2) 共通経費	22,000	22,000	0
	小計	403,500	422,000	18,500
	(3) シニア Zoom サロン			
	1) 事業経費	295,400	295,400	0
	2) 共通経費	15,200	15,200	0
	小計	310,600	310,600	0
	(4) ネットワーク再活性化事業			
	1) 事業経費	307,000	505,000	198,000
	2) 共通経費	21,000	25,000	4,000
	小計	328,000	530,000	202,000
計	1,547,100	1,669,600	122,500	

第2号議案 会則の改正について

- ・第5条の組織及び運営体制について、世話人の欠員補充は「欠員者の任期を引き継ぐ」との規定が新たに世話人となる者の任期を短縮させてしまうため、第5項を一部改正する。
- ・第9条の会費について、年度途中の新規入会における会費の取扱いが明文化されていないため、第4項を追加する。

第5条 ネットワークに、総会において選任した会長、副会長、世話人、会計監査を置く。

- 2 世話人は、4名以上とし、議決権を持つ者(以下「委員」という。)のなかから公募し、現在の世話人会が推薦するものとする。
- 3 世話人で構成される世話人会は、総会の決定により、具体的な企画・立案・事業実施を行う。
- 4 世話人の任期は1期2年間とし、再任も含めて通算3期までとする。再任の場合は世話人会の推薦を必要とする。
- 5 世話人の欠員補充は、総会の承認により行う。欠員者の任期を引き継ぐ。
- 6 世話人代表・副代表・会計担当は1名とし、世話人の互選により、代表・副代表・会計担当を1名ずつ選任する。世話人代表は会長を、副代表は副会長を兼務する。
- 7 会計担当は、会計簿等を備え、収入支出の状況を整理し、会計年度末に会計報告を行う。
- 8 会計監査は2名とする。世話人が推薦した者を世話人会が承認する。なお、任期は2年間とし、再任は2期までとする。
- 9 会計監査は、会計年度末に一般会計・特別会計の監査を行う。

第9条 ネットワークの年会費は、以下の通りとする。

- (1)団体会員 2,000円
- (2)個人会員 1,000円
- 2 会計年度は、毎年4月から翌年の3月までとする。
- 3 会費は、総会、全体会、プロジェクト支援費および世話人会の運営経費等に充てる。
- 4 年度途中の新規入会について、4月から9月の入会であれば年会費の満額、10月から3月の入会であれば半額を当該年度会費として徴収する。

第3号議案 世話人の欠員補充について

令和5年7月に世田谷区誌研究会 横地 彦太郎氏が世話人を辞任。辞任後、世話人8人の体制にて運営。第3回世話人会にて欠員補充に向けた公募を行うことを決定。世話人会として、応募があった以下2名を世話人として推薦する。

氏名	団体名
渡辺 美佐子	アニマシオントイ
高山 都規子	かたよせ会

第1号報告 令和5年度イベント「生涯現役フェア」中間報告

開催予定日: 令和5年10月15日(日)

場所: 玉川区民会館(せせらぎホール、ホールロビー、コミュニティ広場)

実行委員

役割	氏名	団体名
リーダー	河上 勇	世田谷砂場クラブ
サブリーダー	中島 有二	パソコンクラブ優遊会
会計	今村 眞展	地域デビューの会
	熊井 誠	世田谷健康体操連盟
	松田 仁美	環境学習会
	秋山 宜興	ひだまり文化研究会
	藤岡 昭	世田谷区生涯大学同窓会
	石川 令子	環境学習会
	盛田 佐保子	劇団・せたがや創作紙芝居
	清志水 凡从	【ご当地】家族会
	高山 都規子	かたよせ会

実行委員会を5回開催、出演者事前説明会(8月21日)開催。

「キャッチフレーズ/イベント名」は、前年度からの連続性を考慮し「世田谷を舞台とする地域活動団体の祭典/第17回生涯現役フェア」とし、サブテーマは「生きる力」とした。招待講演の講師はフリーアナウンサー笠井信輔氏。

現在、チラシ、新聞、ラジオ、町内会回覧など様々なメディアで広報し、参加者を募集中。

第2号報告 令和5年度シニアの社会参加あとしプロジェクト中間報告

シニアの社会参加あとしプロジェクト 実行委員(○は分科会リーダー)

役割	氏名(敬称略)	団体名	分科会
リーダー	○白井 達郎	世田谷地域デビューの会代表	まち歩き(等々力溪谷・九品仏)
	多賀 正孝	おでかけサポーターズ、世田谷地域デビューの会	まち歩き(等々力溪谷・九品仏)
サブリーダー	今村 眞展	世田谷地域デビューの会	まち歩き(等々力溪谷・九品仏)
	○石川 令子	世田谷環境学習会、世田谷地域デビューの会	まち歩き(銘木・砧公園オリエンテーリング)
	秋森 かつ枝	おでかけサポーターズ、世田谷地域デビューの会	まち歩き(銘木・砧公園オリエンテーリング)
	大西 真由美	世田谷地域デビューの会	まち歩き(銘木・砧公園オリエンテーリング)
	○遠藤 陽三	社会福祉協議会地区サポーター	まち歩き(ノルディック)
	○古川 和子	社会福祉協議会地区サポーター	音楽
	盛田 佐保子	劇団・せたがや創作紙芝居	音楽
見守り	○河上 勇	生涯現役ネットワーク世話人会代表、世田谷砂場クラブ代表、NPOカブラー代表、世田谷地域デビューの会	講座
	佐伯 京子	世田谷ウォーキングフォーラム	講座
	宮崎 雅史	社会福祉協議会地区サポーター	講座
	清志水 凡从	【ご当地】家族会	講座

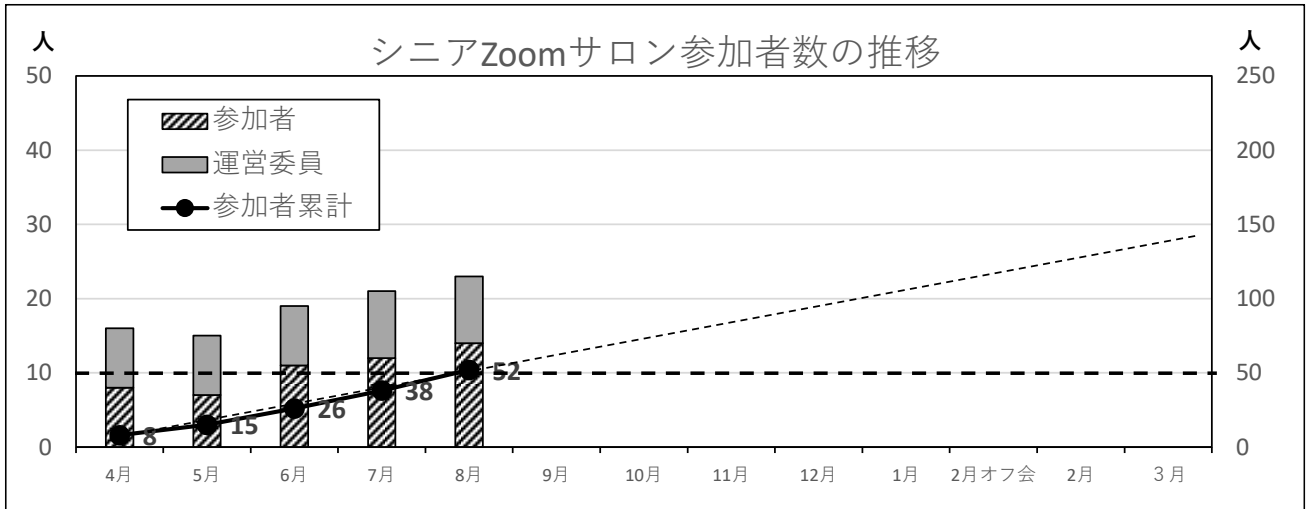
実行委員会を5回開催し、以下のイベントを企画した。

	日時・集合場所	内容
①	11月4日(土) 9:30~12:00 千歳温水プール集会室	ノルディックウォーキング体験会
②	11月9日(木) 9:30~12:00 砧公園世田谷美術館前	名木オリエンテーリング
③	11月25日(土) 9:30~12:00 北沢タウンホール3階ミーティングルーム	男性のための退職準備講座(女性の参加も歓迎)
④	11月29日(水) 13:30~16:00 九品仏地区会館	マンドリン&ギター音楽会(演奏とお話)
⑤	12月3日(日) 9:30~13:30 玉川総合支所コミュニティ広場	世田谷の紅葉巡り(等々力溪谷・九品仏浄真寺)
⑥	2月28日(水) 13:30~16:00 九品仏地区会館	フルート&クラリネット音楽会(演奏とお話)

第3号報告 令和5年度シニア Zoom サロン 中間報告

運営委員は P8 の表に示す通り。

Zoom サロンの前後の時間で運営委員の間で意見を交わし、様々な改善や工夫をしてより良い運営を心掛けている。毎回行っているアンケート結果では、サロンの内容について参加者から高評価を頂いている。参加者数の推移は下図の通りで、水曜日の開催は人数が少なくなる傾向があるが、その分一人当たりの話す時間があり落ち着いた雰囲気になる、土曜日だと参加できない方が参加できるなどの利点がある。



4月から7月の記録は以下の通り。

4月15日(土)	参加者8名、運営委員8名参加。 清志水凡从さんが、[ご当地]家族会について、居酒屋（凡サロ砵家）で高座を設けて、落語を披露しながら「あい三<挨拶推進運動>」「ご当地タレントの発掘」等の地域活動についてお話しました。 MCは佐伯さんが担当した。
5月17日(水)	参加者7名、運営委員9名参加。 河上勇さんが、「NPOカブラー」について、区内の起業家の集まりで、17年前に設立し、主に地域ビジネス起業支援を行い、個別ビジネスから地域プロジェクトを抽出して、地域社会の実現に寄与する事を目指している事や、三軒茶屋のフェスタ「まち道楽」や「三茶でサンタ」の実例を交えて紹介しました。 MCは大西さんが担当した
6月1日(木) 運営委員会	ひだまり友遊会館 2階第3会議室 18:00~19:40 運営委員10名参加。 1. シニアZOOMサロンの7月~11月の活動紹介予定の団体を確定し、チラシ作成を承認する。 2. シニアZOOMサロンの12月~3月の予定を検討する。 集客力あるスペシャルゲストを探す(例えば、バラカン氏、京王電鉄(広報)、中島さん(温泉)等)を検討する。 3. 本年度の予算管理運営を検討・決定する。 4. 来年度の計画・策定を7月までに準備する。
6月17日(土)	参加者11名、運営委員8名参加。 横地彦太郎さんが、「世田谷区詩研究会」について、73年前に設立し、現在会員約140名で、毎年1回の機関紙「せたかい」を発行し、世田谷の歴史・文化・風俗等を研究し、その活動内容について、講演会の開催や史跡散歩のイベント等を行っている実例を紹介しました。 MCは佐伯さんが担当した。
7月19日(水)	参加者12名(区の職員2名を含む)、運営委員9名参加。 長谷川宏さんが、「生きがい世田谷の会」について、健康と生きがいづくりをテーマとして、平成7年に設立し、会員30名、その主な活動内容(プレイル対策、ディスコン、気功教室、「生きがいづくりシンポジウム」、「生きがいウォッチング」)をお話しました。 MCは大西さんが担当した。

第4号報告 令和5年度ネットワーク再活性化事業中間報告

6月7日に第1回の再活性化部会を以下のメンバーにて開催して、直ちに加盟団体へのヒアリングを7月に3回開催することを決めた。

7月3日の第2回再活性化部会では、7月の企画の詳細と10月の交流会について話し合った。

役割	氏名	所属団体
リーダー	小川 正徳	劇団・せたがや創作紙芝居
サブリーダー	河上 勇	世田谷砂場クラブ
IT担当	中島 有二	パソコンクラブ優遊会
会計	今村 眞展	世田谷地域デビューの会
企画	林 祥介	シニアスクール
HP編集委員会	岡崎 宏	ドットネット
	真貝 高三	せたがやすまほ研究会
	石川 令子	環境学習会
	片岡 龍次	トーク会

7月に3回に分けて開催した「活性化支援セミナーと交流会」(下記)は、活発で有意義な交流ができた。この交流会を通じて把握できた課題は、ネットワーク全体(加盟団体)の能力向上には団体の格差があることで、この体験を踏まえると次年度の再活性化事業のテーマは「加盟団体の成功事例発表と交流会」と「ネットワーク加盟団体のIT技能の向上(例えば、LINEの一斉メールと参加不参加機能の普及)」に取り組みたい。

プログラムは、ITセミナー25分、事例発表5分、会員募集企画5分、交流85分

【A】7/10(月)13:00-15:00(7団体)

生きがい世田谷、エレガントフラ、北澤 DANCHU 会、野鳥ボランティア、世田谷砂場クラブ、世田谷地域デビューの会、劇団・せたがや創作紙芝居

【B】7/18(火)10:00-12:00(5団体)

生涯大学同窓会、世田谷区シニアスクール、コミュニティご縁、せたがやすまほ研究会、自カヨガ・クラブ

【C】7/26(水)13:00-15:00(9団体)

ひだまり文化研究会、けやき歩好会、世田谷区誌研究会、アニマシオントイ、大山みちの会、パソコンクラブ優遊会、NPO カプラー、トウレット友の会、世田谷風景じゅく



第5号報告 令和4年度プロジェクト(一般会計)中間報告について

番号	プロジェクト名	団体名(略称)
1	世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会(第3回)	世田谷風景じゆく 世田谷砂場クラブ
2	Seta IT Team による広報活動支援プロジェクト	パソコンクラブ優遊会 せたがやすまほ研

第6号報告 会員入会について

番号	入会承認日	団体名
1	令和5年7月28日	岡さんのいえ TOMO の会
2	令和5年7月28日	イヴの木
3	令和5年9月 4日	おとこの台所・野沢

62団体・1個人が加入(令和5年9月4日時点)